

ご存知のとおり、排泄は健康の維持や尊厳にかかわる大切な日常生活動作の一つです。

対象者が子供や入所されている成人・高齢者の場合は介助者（同居家族や施設職員）による客観的な視点から、排泄に問題があるかどうかは表面化しやすいといえます。しかし、在宅の場合移動・移乗動作は介助を必要とするものの、トイレに入れば（便器に座れば）あとは対象者ご自身のみになり、排泄の問題が取り上げられないことが多くあります。

どんなに排泄しづらくても、残尿感・残便感があっても便器から転落しそうになってもトイレはプライベートな空間であり、排泄問題がタブー視されている風潮から問題として取り挙げられていないことが実情なのです。ともすると対象者ご本人もこれまでの習慣から気付いてないこともあります。

トイレでの立ち座り動作ができれば、本当に問題がないといえるのでしょうか。トイレは排泄をする場所であるにもかかわらず、『排泄の大切さ』がなおざりにになっている現状に対して、今回ご紹介する『ハートリーフレスト』をご活用いただければ幸いです。



快適な排泄のポイント

排泄にはメディカルケア以外にも日常生活におけるリズムや食生活・便意を感じたら我慢をしないことなどはもちろんのこと、適切な排泄姿勢をとり残尿・残便をなくしていくことが大切になります。

ここで適切な排泄姿勢とは臥位よりも重力が利用できる座位をとり、後ろへもたれた姿勢ではなく、自然に腹圧が適度にかかる軽い前傾姿勢をとることです。このような前傾姿勢をとることで肛門直腸角が鈍角となり、排泄しやすくなるとも言われています。

また、足底を全面接地することも忘れてはいけません。

排泄には上記のような適切な姿勢をとり、気兼ねなく心から安心できる空間で自分のペースでできることが大切になります。

排泄動作での問題点

排泄動作にはいろいろな問題が潜んでいます。

トイレまでのアプローチの問題・便器への移乗動作の問題・便器上での座位(排泄姿勢)の問題・排泄後のケアの問題・それらにかかる介助負担の問題など、列記した以上の問題も対象者の状態によっては存在すると思われます。

『排泄の大切さ』自体が取り上げられない原因として、まず先にこれらの問題に着目してしまうことも挙げられると考えられます。

尊厳の重視・自立促進を考えると、トイレという空間でご自身による確実な排泄を行っていただくことが重要ですので、トイレ空間・動線の環境整備(住宅改修など)はもちろんですが、心から安心できる安定した排泄姿勢をとっていただく補助器具が必要となります。

ハートリーフレスト

トイレ用サポート手すり ハートリーフレスト

『排泄の大切さ』を第一に考え、確実な排泄を行うこと。そのサポートのためにハートリーフレストは開発されました。

○前傾姿勢を的確にサポートするテーブル形状

前傾姿勢を的確にサポートする為には前腕全面で支持できる必要最小限のテーブルが必要となります。そのため、ハートリーフレストは馬蹄形という特異なテーブル形状をしており安心して確実に前傾姿勢をとっていただくことができます。



○各種調整機能

排泄の問題は年齢に限らず全ての方にあてはまります。児童においては排泄のあいだ中、介助者が前から中腰で体幹を支え、介助を行っている光景をよく目にします。そのような児童から成人・高齢者にいたるまで、あらゆる体格・体の状態に合わせてテーブルの高さ・奥行・幅、各種の調整機能を備えています。



○収納機能

トイレという空間は対象者本人のみが使用する空間ではありません。そのため同居家族の共有スペースであることを考え、日常生活にさしかえのない収納機能が必要になります。ハートリーフレストはその点を考慮し、便器のタンクスペースを利用した収納を実現しました。また、車椅子での便器へのアプローチや介助者の体を守る安全な介助動作も可能です。

○安全性

安心して排泄をしていただく為には、安全な環境が必要です。ハートリーフレストは使用時の危険性を回避する為、アームの回転軸にダンパーを使用し、テーブルの跳ね上げ時は軽く、降下時はゆっくりと動作する安全設計です。また、前方でのテーブル開閉時の指詰めや、アーム回転軸での指詰めにも考慮した設計になっています。

これらによる改善で排泄介助の回数が減ったり、見守りですむなど介助負担の軽減にもつながるのではないのでしょうか。